

生活

普通列車

時間に余裕があるときは、普通列車で通勤する。座れる上に、人混みを避けられるので風邪予防にも。朝から、ちょっと得した気分だ。(史)

記者のつぶやき



岡崎 勝

小学校高学年の女の子を持つお母さんから「娘が男の子と付き合っていると言っているんですが、どこまで許せばいいんでしょうか?」と尋ねられました。思春期に入れば「異性と付き合う」ということもありまして、同性に対しても恋愛感情が湧く子がいます。

これは不自然なことではなく、いつの時代でも親の悩みだったと思います。付き合うといってもいろいろなケースがあります。ほとんど女子が優位で主導権をにぎり、行動を命令し、男子が唯々諸々とそれに従っているような状態です。手をつないだり、キスしたりというケースは全くないわけではないですが、せいぜい仲間同士の複数ペアで、遊びに出掛けるくらいです。私が子どもから直接相談を受けると

異性と付き合う

相手を尊重することが大切

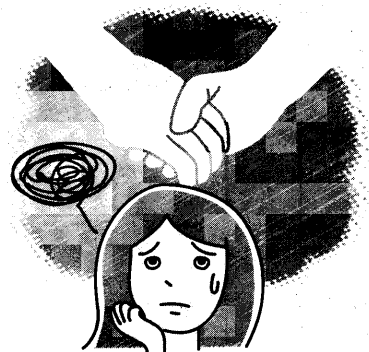
きは、ペアが破綻したときの泣きごとや恨みごとの聞き役になるときがほとんどです。女子ばかりで、男子からはまずそういう相談はありません。

私がしてきたアドバイスは、「小学生でキスは早い! 手をつなぐくらいまでだ。ハグは許す!」程度です。これも時代とともに変わっていくでしょうが、相手を尊重することが大切ということは変わりません。この話は、明るく厳しくしなければなりません。笑いの中にも、真剣さが必要です。

お母さんたちは自分の息子に関して特に緊張感が走ります。息子が同級生の女の子に彼氏にされ、いいようにこき使われているみたいと夫に相談したお母さんがいました。ところが、そのお父さんは「女の子ってそういうものだから、君だって同じじゃないか」と言われ、憤慨していました。

子どもが一人前になっていくのは親にとっても、うれしいことであり、同時に不安なことでもあると腹を据えるほかないと確信しています。

(小学校教員、育児雑誌編集者)



イラスト・浅野 裕作